

Canon



# 高桑常寿 写真展「唄者の肖像」

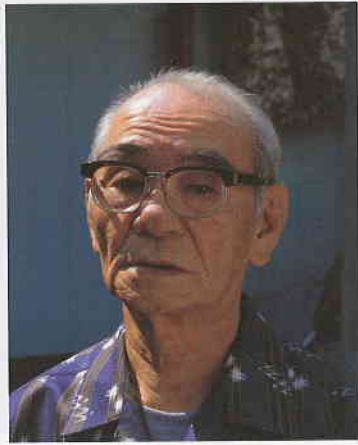
TAKAKUWA Tsunehiro Photo Exhibition Musicians of Islands

宇根 由基子(踊り)

2011年3月31日(木)～5月16日(月) キヤノンギャラリー S ●開館時間:10時～17時30分 ●休館:日曜・祝日 ●入場無料



上原 知子 (唄 三線)



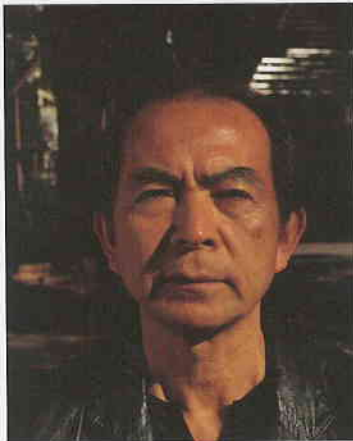
登川 誠仁 (唄 三線)



大城 美佐子 (唄 三線)



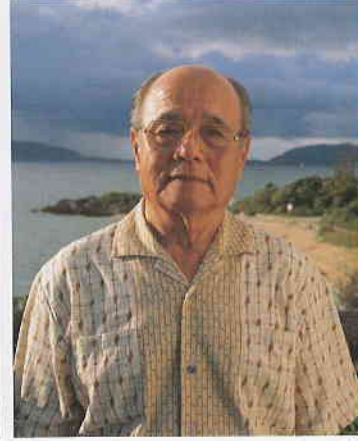
照屋 林助 (唄 三線)



大工 哲弘 (唄 三線)



金城 弘美 (唄 三線)



宮良 長久 (唄 三線)



本盛 秀 (踊り)

## 僕の大好きな島の唄者のポートレート

すばらしい唄うたいに出会いました。  
その肖像を4×5判の大型カメラで定着させました。  
これらの写真は、ある意味僕の一方的なラブレターかもしれません。

1991年より憑かれるようにしてアフリカに通い続け、すばらしいアフリカ人ミュージシャンに出会い、ポートレートおよび集合写真を4×5判の大型カメラで撮ってきました。その後もアジア、ヨーロッパ、ラテンアメリカ、そして日本のミュージシャンを数多く撮影してきました。

もしかしたら人は大判カメラを前にした時、“撮られる意識”が強く働き、人となりそのままだま願ってしまうのかもしれない。

大判カメラによる肖像写真は、その人の人生をそのまま切り取って、魂まで表現することができると思っています。

1998年より、沖縄、八重山、宮古の唄者のポートレートを、やはり4×5判の大型カメラで撮影を続けてきました。ご存じのように唄者とは、三線(さんしん=沖縄の三味線)を弾きながら唄い踊る芸能者のことで“うたしゃ”と読みます。そこに写っているのは人生を唄と踊りに捧げた、すばらしい顔ばかりです。

ぐると濃い顔にじっと見つめられる写真展になります。

島の人にとっては、唄と三線と踊りは欠かせません。

そんな濃い唄者の顔から力ももらって帰るに違いありません。

高桑 常寿

## 高桑 常寿 (たかくわ つねひろ)

1955年 名古屋生まれ。エディトリアル・デザイナー、編集者を経て、その間に写真を撮り続けた結果、30歳からカメラマンとして独立。以後、グラフィアを中心に活動。

### 《主な個展》

- 2002年「The African Musicians by 4×5 part1」ジェラルド・フィリップ劇場(フランス・サントニ)
- 2003年「The African Musicians by 4×5 part 1」フェスティバル・エスペランサ(ベルギー・ブリュッセル)
- 2005年「Musicians of Africa in 4×5 Tokyo 2005」青松寺 観音聖堂
- 2006年「アフリカ ミュージシャンの肖像」世田谷文化情報センター 生活工房
- 2008年「Land of the Groove - 写真家が出会ったアフリカのミュージシャンたち」JICA 地球ひろば  
「Musicians of Africa in 4×5」横浜ランドマークプラザ
- 2009年「アフリカ・ミュージシャンの肖像」横浜赤レンガ倉庫ギャラリー
- 2010年「唄者の肖像 八重山 沖縄」石垣市民会館展示ホール  
《写真集》
- 2011年「唄者の肖像」3月下旬発売予定(東京キララ社)

## 高桑常寿 講演会

日時：2011年4月9日(土) 13時30分～15時

会場：キヤノン S タワー 3階 キヤノンホール S

内容：今回展示した写真作品の数々を紹介しながら、

撮影時の秘話などを講演します。

お申し込み：canon.jp/eventより

定員：先着300名

## CANON GALLERY S

キヤノンギャラリー S は、デジタルイメージングの楽しさ、映像表現の無限の可能性を体感していただくためのアートスペースです。話題のアーティストによる作品展を順次開催して参ります。

●開館時間：10時～17時30分、休館：日曜・祝日、入場無料

●JR品川駅港南口より徒歩約8分

京浜急行品川駅より徒歩約10分

## キヤノンマーケティングジャパン株式会社

CANON S TOWER

〒108-8011 東京都港区港南2-16-6

TEL.03-6719-9021

canon.jp

